

# 1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

## (1) 豊かな自然環境と共生した生活を実現します

= 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

### 一般住宅省エネ化推進事業 375万円

(担当：環境課環境政策係)

一般家庭において太陽光発電設備と省エネ設備を設置する際に補助金を交付することにより、地球温暖化の抑制を推進しました。



### し尿処理事業 3億3,416万円

(担当：環境課生活環境係)

し尿及び浄化槽汚泥の収集運搬とし尿処理施設の管理運営を行いました。

平成22年度の収集処理状況は、前年度より3.8%減少し、40,139,802 リットルとなりました。

### ごみ処理事業 4億6,016万円

(担当：環境課生活環境係)

家庭ごみの収集運搬とごみ処理施設の管理運営を行いました。

平成22年度のごみの排出量は、前年度より1.7% (283トン) 減少しました。

### 庁舎太陽光発電システム導入事業

100万円

【H23年度への繰越額 3,428万円】

(担当：管財課財産係)

地球温暖化対策の一環として、行政庁舎に太陽光パネルを設置するとともに、照明の一部をLED照明に交換することにより、施設の省エネを図りました。



廃家電製品回収作業の様子

### 農地・<sup>みず</sup>水・環境保全向上対策事業

7,651万円

(担当：農業政策推進室)

田や畑、農業用水などの資源や農村環境の良好な保全とその質の向上を図るため、地域ぐるみで参加する共同活動や環境にやさしい営農活動の取組みに対して支援を行いました。



生息状況を把握するための生き物調査



地区総出での環境美化 (花の植栽)

# 1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

## (2) 多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します

= 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

### 都市計画街路事業 1億1,749万円

【H23年度への繰越額 5,099万円】

(担当：都市計画課都市整備係)

安全で快適な交通体系を確保し、利用しやすい街路づくりを行いました。

(築館) 一迫南線、源光町田線



整備中の都市計画道路一迫南線

### 公営住宅整備事業

1億1,925万円

【H23年度への繰越額 296万円】

(担当：建築住宅課建築係)

公営住宅の老朽化による建替えや、改修事業を通して、安心して暮らせる居住環境・生活環境の整備を目的に、公営住宅(2棟12戸)の整備と老朽化した住宅(35戸)の解体を行いました。

建設 (築館) 新田東住宅

解体 (金成) 有壁住宅、(鶯沢) 森下日和住宅  
(高清水) 佐野丁住宅



新田東住宅 (築館)

### 道路橋りょう維持事業

4億6,708万円

【H23年度への繰越額 4億9,539万円】

(担当：建設課維持係)

市道や側溝の小規模な補修をして、安心安全な道路環境を整備しました。





補修前



補修後

# 1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

## (2) 多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

### 道路整備事業

3億2,502万円

(担当：建設課建設係)

【H23年度への繰越額 3億8,921万円】

#### ○道路新設改良事業

市民の生活を支える基礎となる市道を整備し、安全で快適な道路づくりを実施しました。

《築館》 沢入留場線、栗原中央西線（築館～一迫）、間渡戸線、下中道線、あけぼの通線  
《若柳》 新田線（2期）、杉沢地区道路、新町片町8号線、並柳地区排水路、福岡14号線  
《栗駒》 広域線、四日町松木田線、高松松倉線、下大鳥内ノ目線 《瀬峰》 天神・樋渡線  
《一迫》 清水小栗目・日照線、十日市線、上要害線、清水目嶋峠線 《鶯沢》 辻前遠堀線（2期）  
《金成》 片馬合原線、大手線 《花山》 芦ノ口上原線、萩ノ原線



市道広域線古戸橋（栗駒）



市道間渡戸線（築館）

### 辺地共聴施設整備事業

481万円

(担当：市政情報課情報化推進係)

地上アナログテレビ放送のデジタル化に伴い、従来からの共同受信施設や新たに共同受信施設が必要となる箇所について、新設、改修費用を補助し、難視聴地域の解消を図りました。

《一迫》

小僧共同アンテナ受信組合

葉山共同アンテナ受信組合

鹿込テレビ共同視聴組合

### 新地域交通システム整備事業

2億646万円

(担当：市民協働課地域振興係)

県内一広い面積である市内の交通の利便性向上を図るため、既存公共交通の運行委託や、多様な形態で運行していた路線を市民バスに移行するなどの運行体系の見直しを行いました。

また、新規3路線を含む、全24路線で運行しました。

# 1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

## (3) 安全・安心なまちづくりを推進します

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

### 9. 1 総合防災訓練 972万円

(担当：危機管理室防災係)

平成20年岩手・宮城内陸地震の経験を今後の災害対策への教訓として伝えるべく、9月1日の「防災の日」に栗原市を会場として宮城県総合防災訓練を実施しました。



9.1 総合防災訓練の様子

### 運転免許取得者教育助成事業 17万円

(担当：危機管理室防災係)

市内にお住まいの高齢者の方が、市内の自動車学校において受講する運転免許取得者教育（認定教育）に対して補助を行いました。

### 消防施設維持管理事業 1,236万円

(担当：消防本部総務課消防団係)

火災時における消防水利の迅速な把握ができるよう、標識の設置や破損している標識の修繕を実施しました。

### 橋りょう耐震補強対策事業 7,642万円

【H23年度への繰越額 3,735万円】

(担当：建設課建設係)

橋の耐用年数を延ばし今後発生する修繕経費の削減を図るため、市が管理する橋を点検し、補修優先度の高い橋から補修工事を行いました。

築館：八沢要害線要害跨線橋補修工事  
一迫：農耕地線西農耕地橋耐震補強工事  
市内一円：橋りょう点検22橋



市道八沢要害線  
要害跨線橋（築館）

### 木造住宅耐震改修等事業 836万円

(担当：建築住宅課建築係)

予想される宮城県沖地震等の大規模地震から市民の生命、財産を守るため、木造住宅の耐震改修助成、耐震診断、家具転倒防止器具取付事業を行いました。

- ・木造住宅耐震診断助成事業 40件
- ・木造住宅耐震改修工事助成事業 8件
- ・家具転倒防止器具取付事業 43件

## 2 「豊かな感性と生きる力を育むまち」

### (1) 次代を担うたくましい子どもを育成します

**新** = 新規事業、**拡** = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

#### **拡** 築館中学校体育館改築事業

4,190万円

【H23年度への繰越額 4億5,144万円】

(担当：教育総務課教育施設係)

教育環境を整備するため、体育館建築・解体工事を行いました。

(H22年度～23年度事業のH22年度分)

#### **拡** 若柳中学校校舎改築事業

2億7万円

教育環境を整備するため、校舎建設・解体工事を行いました。

(H22年度～24年度事業のH22年度分)

#### **拡** 鶯沢小学校プール改修事業

8,932万円

老朽化していたプールの改修及び配管等の改修工事を行いました。



改修後のプール(鶯沢小学校)

#### 青空大使派遣事業

639万円

(担当：社会教育課生涯学習係)

市内中学生を対象にオーストラリアでの海外研修を行うことで、国際感覚豊かな人材を育成しました。

参加者実績：19人

#### 語学指導を行う外国青年招致事業

6,725万円

(担当：学校教育課指導係)

外国語指導助手(ALT)を市内全中学校に1人ずつ配置(合計10人)し、中学校等での英語教育推進と地域交流等を推進しました。また、市内小学校における独自の英語活動の導入や、留学生との交流を通じた生きた英語教育を実践しました。



外国語指導助手による授業の様子

#### 豊かな心をはぐくむ教育環境創造事業

ほか3事業

578万円

(担当：学校教育課指導係)

いじめ、不登校問題への対応として、児童生徒、保護者、それぞれ問題を抱える人々への専門相談体制を整備しました。

- ① 教育相談員の配置
- ② 適応事業教室(けやき教室)の開設
- ③ 問題を抱える子ども等の自立支援事業
- ④ スクールソーシャルワーカー事業

#### 学力向上のための緊急プロジェクト

385万円

(担当：学校教育課指導係)

宮城教育大学と連携し、学生の協力による「もっと学びたい子どものための『学府くりはら塾』」の開講や、教師を対象とした学力向上講演会を行うなど、総合的な学力向上施策を行いました。

## 2 「豊かな感性と生きる力を育むまち」

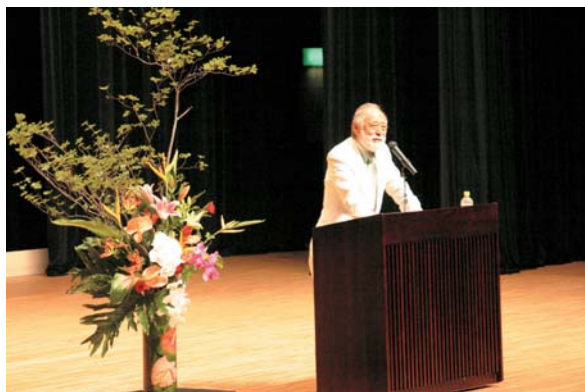
### (2) 人生を楽しむための実践機会を充実します

= 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

#### 「心にきざむ 文化講演会」開催 145万円

(担当：社会教育課文化振興係)

著名人を招き、身近で魅力のある内容をテーマとした、文化講演会を開催しました。



～ 私の役者人生 ～  
津川雅彦氏  
(平成22年度実施の様子)

#### 築館陸上競技場第三種公認検定更新事業 1,230万円

【H23年度への繰越額：1,731万円】

(担当：社会教育課スポーツ振興係)

走路の張替え改修や競技用具を購入するなど、施設整備を図りました。

#### 親と子の自然ふれあい事業 3万円 (担当：社会教育課スポーツ振興係)

市内ダム湖でのカヌー体験や親子共同による工作活動を通じて栗原の自然を体験し家族のふれあいや結びつきを支援しました。

#### 「目指せ！日本一」スポーツ振興事業 311万円

各種スポーツの全国大会などへ出場した32件の選手(団体)に参加費助成を行いました。

#### 「やったね！日本一」スポーツ振興事業 37万円

全国大会で日本一など優秀な成績を残した各種スポーツ出場選手(団体)に活動費を助成しました。(担当：社会教育課スポーツ振興係)



平成22年度全日本卓球選手権  
(ホープス・カブ・バンビの部) 大会参加者

### (3) 地域に根ざした文化の振興と歴史の継承を図ります

#### 文化財保護事業 7,821万円 (担当：文化財保護課文化財係・埋蔵文化財係)

史跡山王圀遺跡の整備、史跡伊治城跡公有化(土地買上)のほか、市内文化財の調査保護、地域の伝統芸能活動の支援を行いました。



山王圀遺跡(一迫)